

令和2年度 江戸川区立南葛西中学校 学校関係者評価 報告書

<p>学校教育目標</p>	<p>人権尊重の精神を基に国際社会に貢献できる日本人の育成を目指す。 ○学びつづける人(重点) ○思いやりのある人 ○心身の健康に努力する人</p>	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p>・生徒の能力を高め資質の向上をめざす学校・入学させてよかったと保護者、地域から信頼される学校・教職員も資質の向上を常に心がけ、高め合い、組織的に協働できる学校 ・南中プライドを常に胸にとどめ、規範意識のある生徒・将来に対するビジョンをきちんと描き、それに向かって努力できる生徒 ・人権意識をもち、他社を尊重できる生徒 ・学校としての組織力を高め、課題の克服に意欲的に取り組む教師・法令順守意識の向上を図り、説明責任が果たせる服務を実践する教師・日常の授業を大切に、より良い授業を行うための研修を励行する教師</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>「教育課題実践推進校」として、教員全員が年間を通して計画的に道徳の授業に取り組んできた。すべての教員の授業を見合い、意見交換し、年間を通して講師を招き指導を受付けてきたことで全教員の授業力向上を図ることができた。また道徳に関する考え方、今後の進め方について学校内で共通理解を図ることができた。QUの調査結果を分析し、生徒同士及び教師との良好な人間関係を概ね築くことができています。 <課題>個別支援を要する生徒の対応と、特支コーディネーターを中心とした組織の見直しと、学校組織としての個別対応の共通理解のあり方について。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・近隣小学校の部活動体験 ・母体小学校への校庭開放 ・母体小の授業参観2月	・1年生の学校不適応3%以下 ・5学級の確保	B	B	部活動体験、校庭開放、参観は実施できなかった。1年生の不適応3%、中一ギャップによる5学級の確保ができた。	A	先生方の丁寧な対応に感謝している。	部活動体験に工夫を加えて来年度実施する。
	地域ボランティアの推進	学校・地域が一体となったボランティア活動による地域の活性化及び生徒の育成	地域行事への生徒及び教員の参加	3分の1以上の生徒がボランティアに参加する。 ・教員の6割以上が参加する	B	B	実際のボランティア活動を行うことはできなかったが、各教科、道徳等の時間において、ボランティア、地域愛について学習した。	A	毎年大変多くの生徒が参加してくれて、交流が盛んにおこなわれていることはとても良い。	新しい生活様式の中で継続していく
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・ワイードを効果的に活用した授業展開を日常的に実施する。 ・書画カメラ等の環境整備	・ワイードを活用した校内研修の実施。 ・初任、2、3年次教員による校内研修の実施	A	A	アシスタントの活用、授業での活用が日常的になったことは大きい。校内研修の成果が見られた。タブレットと併用した活用を充実させる。	A	次年度はタブレットパソコンも導入されるので更なる研修を期待したい。	タブレットを最大限活用した授業改善をする
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・特別支援委員会隔週1回の実施 ・SCによる研修会の実施	不登校生徒、学校不適応生徒3%以下	A	B	コロナ禍であったが不登校生徒が増加することがなかった。SCの計画的な研修体制を作る。	B	丁寧な指導が継続して行われている。	巡回指導員、専門員、コーディネーターとの連携をより深めたい
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・習熟度別少人数(数英)の実施 ・放課後補習教室20回以上の実施	2月末実施の到達度テストにおいて、昨年度以上の結果	B	B	授業満足度の向上 放課後学習教室の定着	B	多くの生徒が授業が分かりやすいと答えており継続して指導してほしい	放課後学習教室の充実
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	・スーパーバイザー、地域人材を活用した図書室整備 ・図書だより、来室者数の集計等の活用	学力調査等において、読解力の項目についての成果を出す	A	A	定期考査において、読解力の項目にて向上 図書室来室生徒の増加 探究的な学習の取り組みにより各教科においても学習を深めることができた	A	本がきちんと整理されており見やすい。 地域ボランティアの活用をさらに生かしてほしい。	朝読書の継続と読解力の育成にむけた取組
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・新体力テストに向けた体育の授業及び部活動における補強運動の取り組み。	新体力テストにおいて、残学年、都平均以上の成果を出す	B	B	家庭でできる補強運動の取り組みで体力に関心に向けた生徒の増加	B	目に見えるような成果が、今後出るように期待したい。	投力、握力、持久力に次年度も特に力を入れていく
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・オリパラコーナーをの更なる充実 ・オリパラ関連授業35時間の実施	・興味関心を深め、知識を身につけ、自己の活動に意欲をもち、オリンピックレガシーを創造させる	B	B	日常生活と関連させたオリパラコーナーの充実による興味の増加	B	玄関のオリパラコーナーに工夫がみられる。	パラリンピック観戦、オリンピックの講演によりオリパラを体感しオリンピックレガシーを創造する
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALTを活用した会話などから英語を身につける授業実践	・授業評価において、「授業がよくわかる」「どちらかといえばよくわかる」の生徒を85%以上とする	B	B	授業がよくわかる45%、どちらかといえばよくわかる45%で計90%の達成率であった。	B	多くの生徒が授業を「面白い」と捉えているので継続してほしい。	感染症対策した上でペア、グループ学習を進め実践的な力を身につけさせる
その他(学校の特色を生かした取組等)	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・SNS学年ルールの取り組み ・南中プライドの自覚をもち、挨拶や朗らかな気質をもつ指導を行う。 ・不登校生徒への適切な対応	・SNSによるトラブル0を目指す ・全生徒が教職員、生徒、地域外部の方への挨拶の徹底 ・不登校生徒の定期的な家庭訪問の実施	A	A	安定した学校生活を年間通して送ることができた 不登校を抱える家庭、学校、関係機関との連携強化 SNSトラブルが発生	A	コロナ感染症により不登校生徒が気になっていたが増加することなくほっとしている。民生委員とも相談してやっていけるとよい。	SNSトラブル0を目指した継続的な指導の実施
	若手教員の育成	初任、1、2年次教員の授業力の向上、生活指導力の向上を図る	・管理職、指導層教員による、初任、1、2年次教員に対するOJTの実施 ・3年次までの教員による校内研究授業	・担任業務の実践力を身につける ・分掌の柱となる力を身につける	A	B	校内授業研究を各学年、3年目までの若手教員で例年以上に研修日を設定し成果が見られた。	A	学校が落ち着いており、継続して更なる研修を進めてほしい。	計画的なOJTを続け、柱となる教員を育成する